

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5 年 6 月 30 日

神戸市長 宛

提出者

住所

兵庫県西宮市池田町12-20

氏名(法人にあつては名称及び代表者氏名)

株式会社 新井組

代表取締役 馬場 公勝

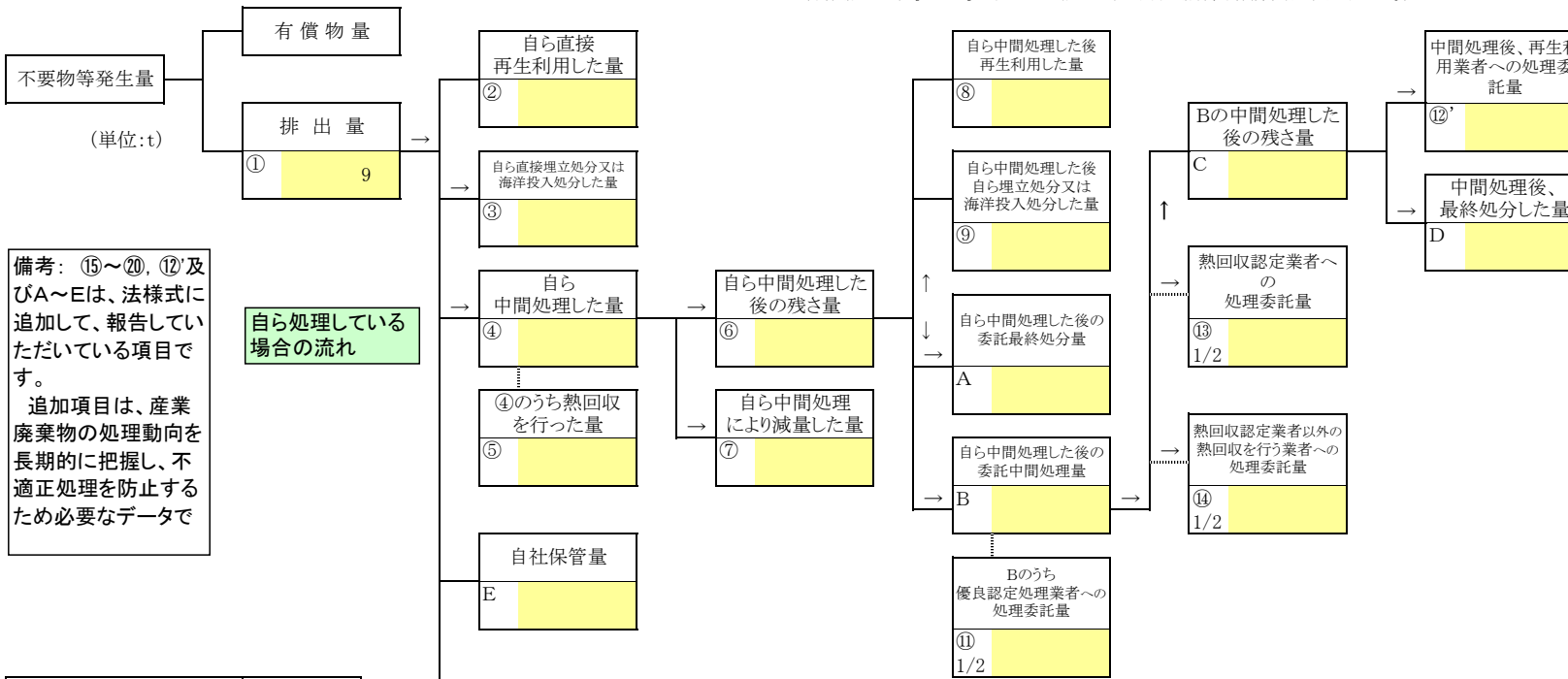
電話番号

0798-26-8449

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 4 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 新井組		
事業場の所在地	神戸市内各所		
事業の種類	06総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4575 t	全処理委託量	4575 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	3395 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(事業場コード(28又は69)で始まる全10桁コードが不明の場合、事業所名称を記入ください。)



備考: ⑮~⑳, ⑫及びA~Eは、法様式に追加して、報告いただいている項目です。  
追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータで

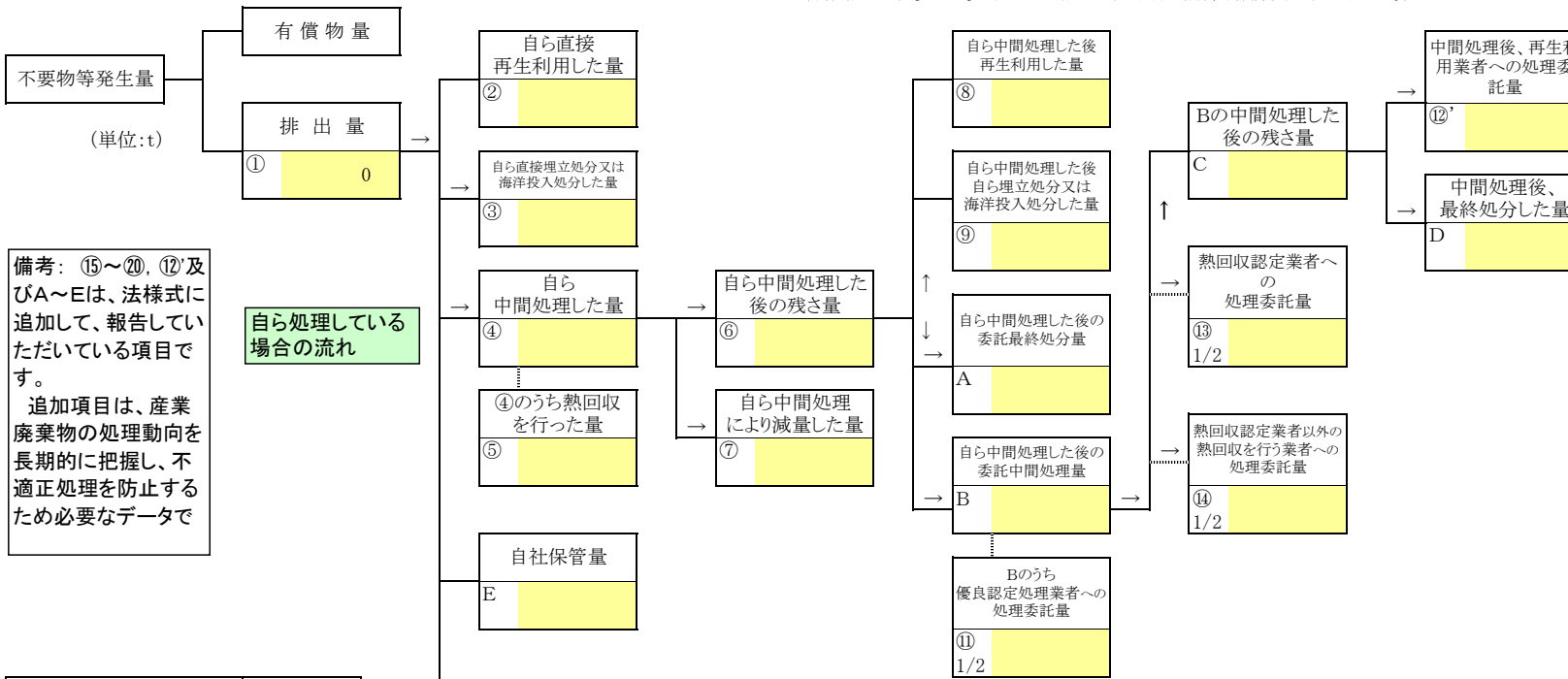
自ら処理している場合の流れ

直接委託処理した場合の流れ

項目	実績値
① 排出量	9
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	9
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	9
⑫ 再生利用業者への処理委託量	9
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

- ⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
9 (A+B+⑮+⑰)
- ⑪ 優良認定業者への処理委託量  
9 (⑪1/2+⑪2/2)
- ⑫ 再生処理業者への処理委託量の合計  
9 (⑫'+⑳)
- ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量  
0 (⑬1/2+⑬2/2)
- ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
0 (⑭1/2+⑭2/2)
- ⑮は委託処理のうちの最終処分量  
0 (A+D+⑰+⑱)
- その他  
0 保管量
- 総埋立処分量  
0 (⑨+A+D+⑰+⑱)
- 総再生利用量  
9 (②+⑧+⑫'+⑳)

(事業場コード(28又は69)で始まる全10桁コードが不明の場合、事業所名称を記入ください。)



備考: ⑮~⑳, ⑫及びA~Eは、法様式に追加して、報告いただいている項目です。  
追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータで

項目	実績値
① 排出量	0
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

- ⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
0 (A+B+⑮+⑰)
- ⑪ 優良認定業者への処理委託量  
0 (⑪1/2+⑪2/2)
- ⑫ 再生処理業者への処理委託量の合計  
0 (⑫'+⑳)
- ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量  
0 (⑬1/2+⑬2/2)
- ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
0 (⑭1/2+⑭2/2)
- ⑮は委託処理のうちの最終処分量  
0 (A+D+⑰+⑱)
- その他  
0 保管量
- 総埋立処分量  
0 (⑨+A+D+⑰+⑱)
- 総再生利用量  
0 (②+⑧+⑫'+⑳)

計画の実施状況

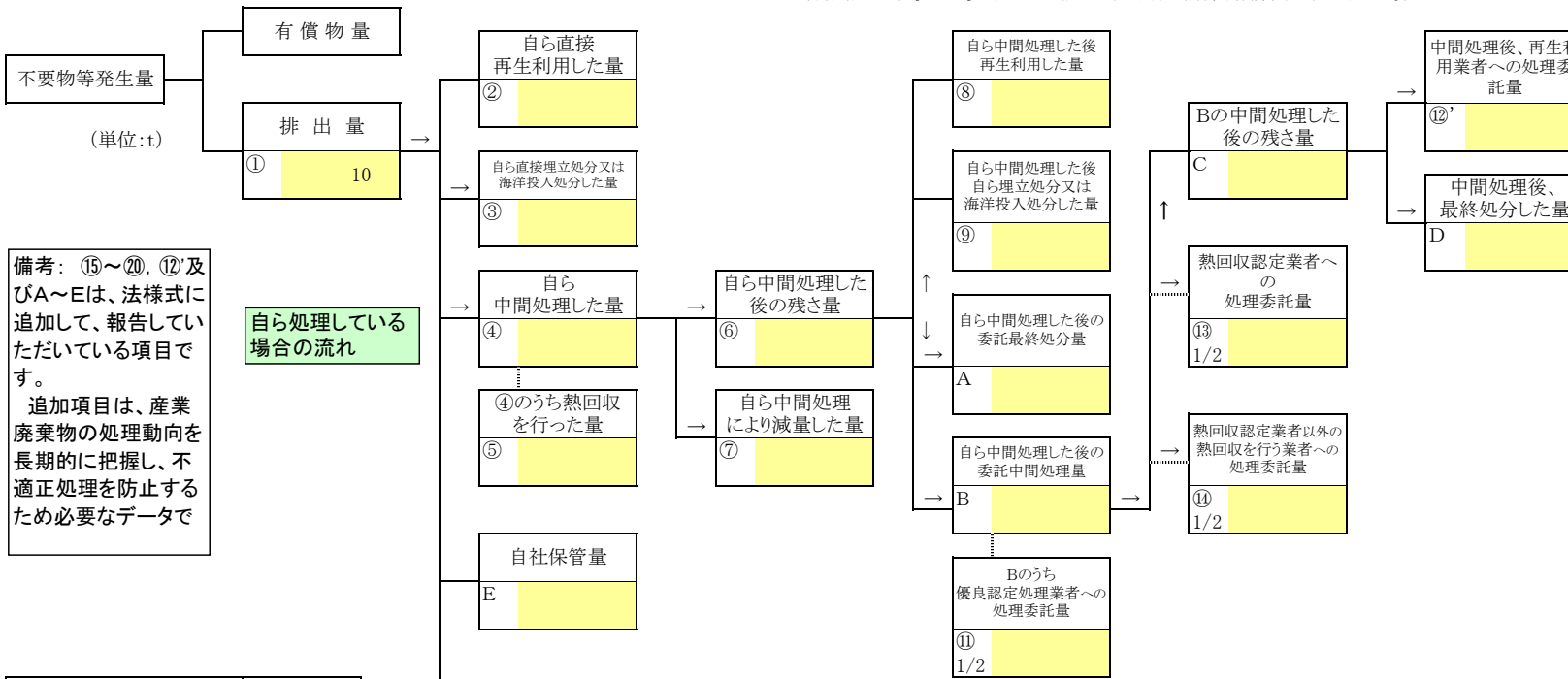
(産業廃棄物の種類: **0800木くず**)

事業場コード: 28JS000004

地域コード: 11(神戸)

(第2面)

(事業場コード(28J又は69J)で始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)



備考: ⑮~⑳, ⑫及びA~Eは、法様式に追加して、報告いただいている項目です。  
追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータで

自ら処理している場合の流れ

直接委託処理した場合の流れ

項目	実績値
① 排出量	10
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	10
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	9
⑫ 再生利用業者への処理委託量	10
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

- ⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
10 (A+B+⑮+⑰)
- ⑪ 優良認定業者への処理委託量  
9 (⑪1/2+⑪2/2)
- ⑫ 再生処理業者への処理委託量の合計  
10 (⑫'+⑳)
- ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量  
0 (⑬1/2+⑬2/2)
- ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
0 (⑭1/2+⑭2/2)
- ⑮は委託処理のうちの最終処分量  
0 (A+D+⑰+⑱)
- その他  
0 保管量
- 総埋立処分量  
0 (⑨+A+D+⑰+⑱)
- 総再生利用量  
10 (②+⑧+⑫'+⑳)

計画の実施状況

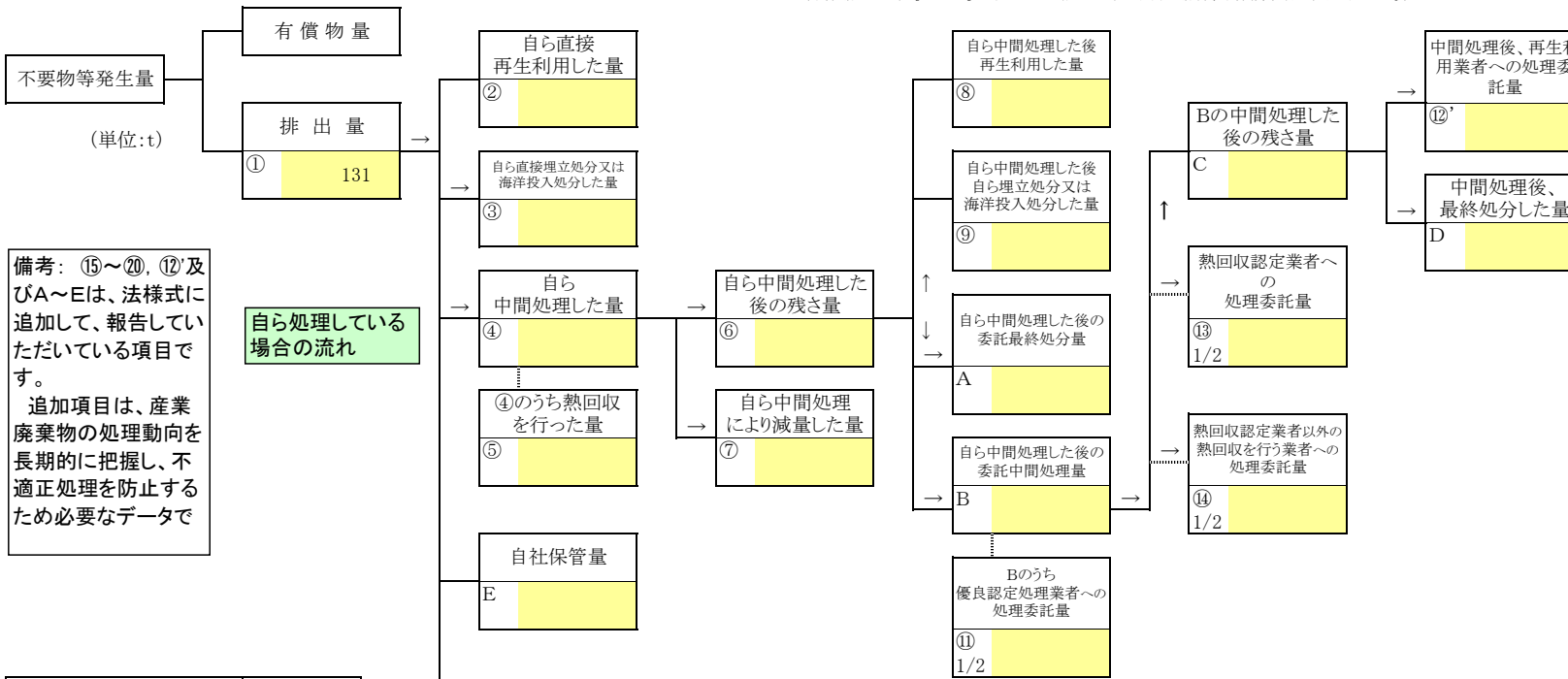
(産業廃棄物の種類: 1300ガラスくず等)

事業場コード: 28JS000004

地域コード: 11(神戸)

(第2面)

(事業場コード(28又は69)で始まる全10桁コードが不明の場合、事業所名称を記入ください。)



備考: ⑮~⑳, ⑫及びA~Eは、法様式に追加して、報告いただいている項目です。  
追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータで

項目	実績値
① 排出量	131
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	131
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	15
⑫ 再生利用業者への処理委託量	131
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

- ⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
131 (A+B+⑮+⑰)
- ⑪ 優良認定業者への処理委託量  
15 (⑪1/2+⑪2/2)
- ⑫ 再生処理業者への処理委託量の合計  
131 (⑫'+⑳)
- ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量  
0 (⑬1/2+⑬2/2)
- ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
0 (⑭1/2+⑭2/2)
- ⑮は委託処理のうちの最終処分量  
0 (A+D+⑰+⑱)
- その他  
0 保管量
- 総埋立処分量  
0 (⑨+A+D+⑰+⑱)
- 総再生利用量  
131 (②+⑧+⑫'+⑳)

計画の実施状況

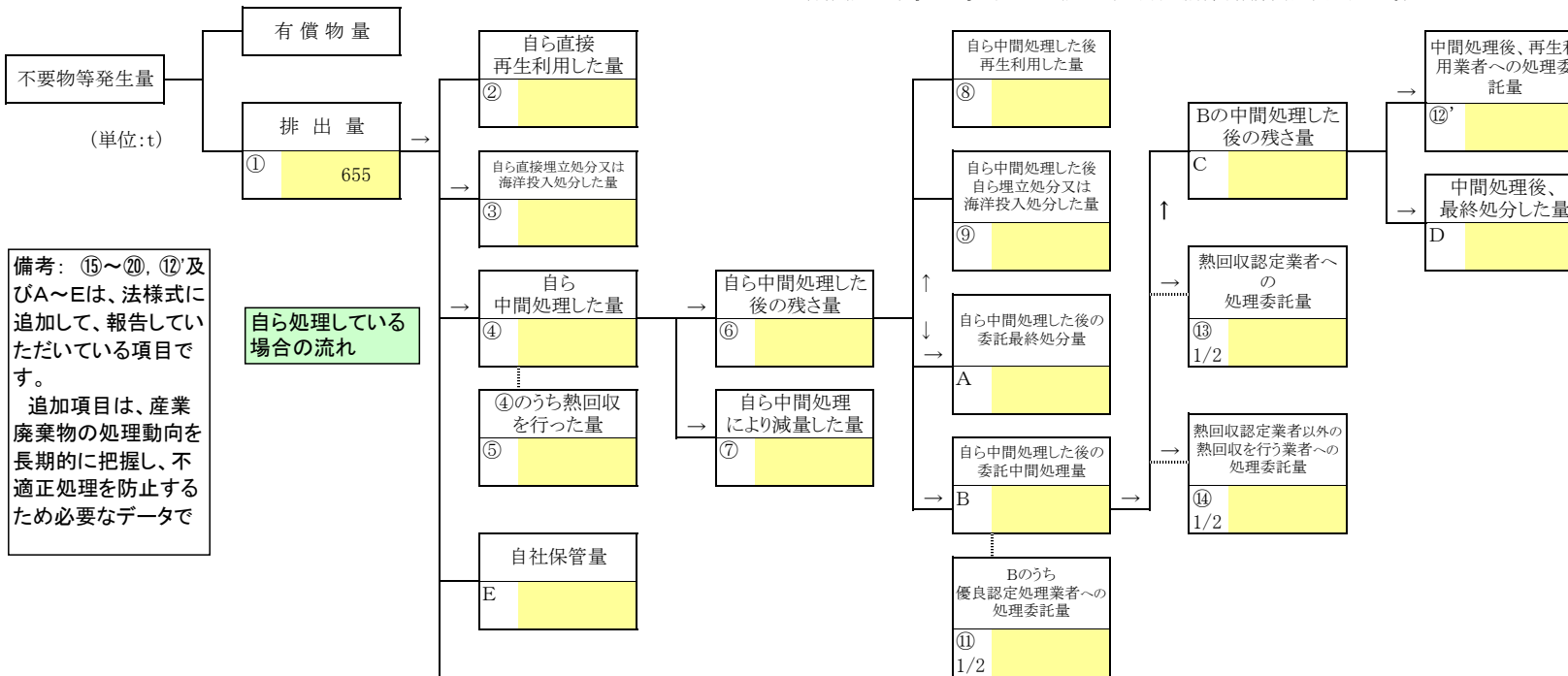
(産業廃棄物の種類: 1500がれき類)

事業場コード: 28JS000004

地域コード: 11(神戸)

(第2面)

(事業場コード(28J又は69J)で始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)

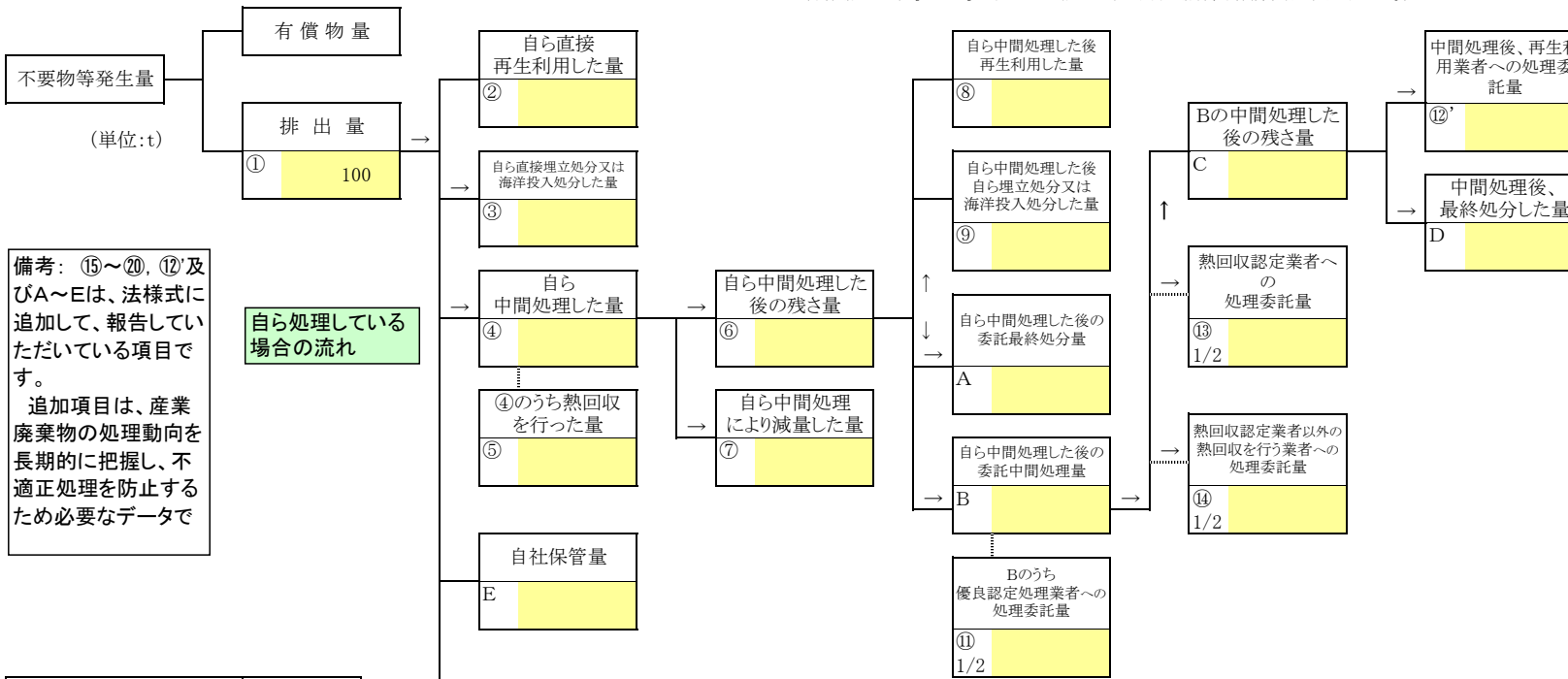


備考: ⑮~⑳, ⑫及びA~Eは、法様式に追加して、報告いただいている項目です。  
追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータで

項目	実績値
① 排出量	655
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	655
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	35
⑫ 再生利用業者への処理委託量	655
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

- ⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
655 (A+B+⑮+⑰)
- ⑪ 優良認定業者への処理委託量  
35 (⑪1/2+⑪2/2)
- ⑫ 再生処理業者への処理委託量の合計  
655 (⑫'+⑳)
- ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量  
0 (⑬1/2+⑬2/2)
- ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
0 (⑭1/2+⑭2/2)
- ⑮は委託処理のうちの最終処分量  
0 (A+D+⑰+⑱)
- その他  
0 保管量
- 総埋立処分量  
0 (⑨+A+D+⑰+⑱)
- 総再生利用量  
655 (②+⑧+⑫'+⑳)

(事業場コード(28J又は69J)で始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)



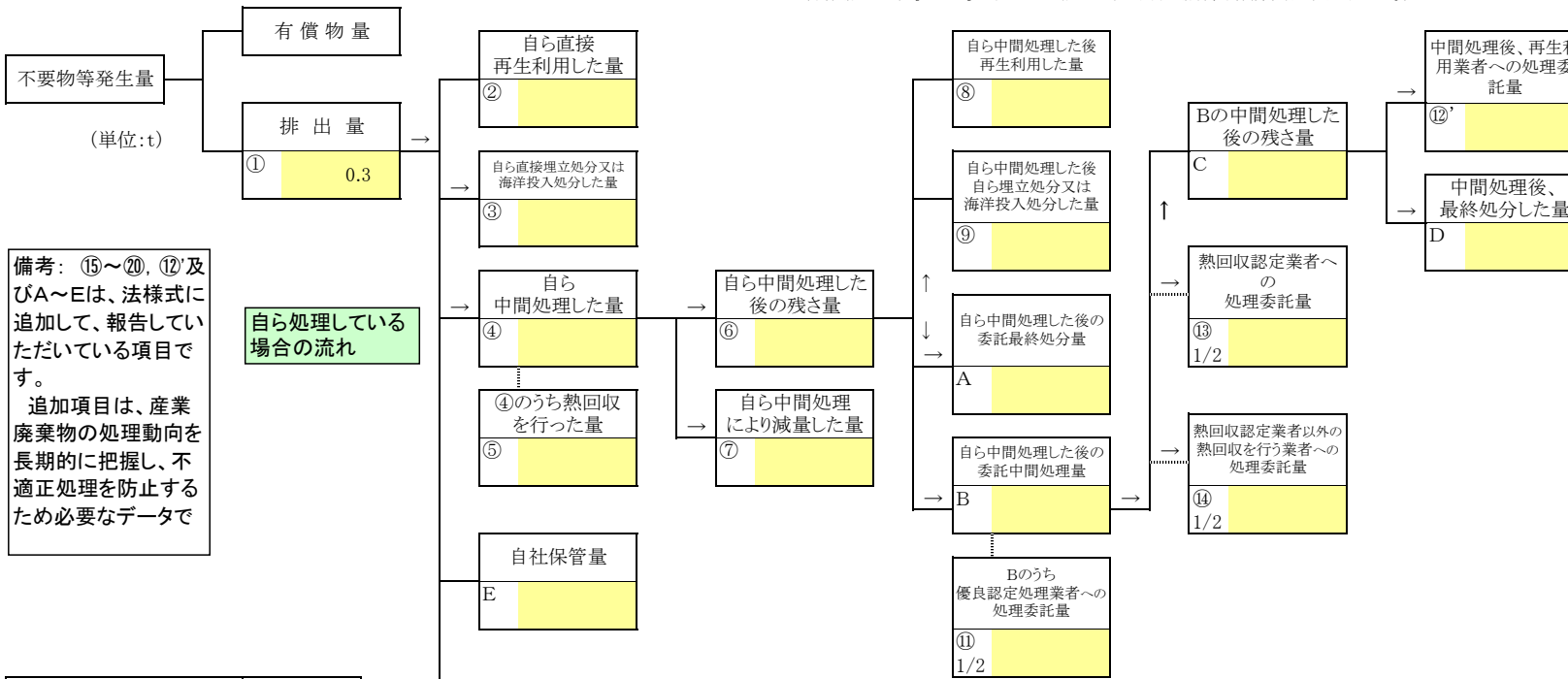
備考: ⑮~⑳, ⑫及びA~Eは、法様式に追加して、報告いただいている項目です。  
追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータで

項目	実績値
① 排出量	100
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	100
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	47
⑫ 再生利用業者への処理委託量	100
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

- ⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
100 (A+B+⑮+⑰)
- ⑪ 優良認定業者への処理委託量  
47 (⑪1/2+⑪2/2)
- ⑫ 再生処理業者への処理委託量の合計  
100 (⑫'+⑳)
- ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量  
0 (⑬1/2+⑬2/2)
- ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
0 (⑭1/2+⑭2/2)
- ⑮は委託処理のうちの最終処分量  
0 (A+D+⑰+⑱)
- その他  
0 保管量
- 総埋立処分量  
0 (⑨+A+D+⑰+⑱)
- 総再生利用量  
100 (②+⑧+⑫'+⑳)



(事業場コード(28又は69)で始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。)



備考: ⑮~⑳, ⑫及びA~Eは、法様式に追加して、報告いただいている項目です。  
追加項目は、産業廃棄物の処理動向を長期的に把握し、不適正処理を防止するため必要なデータで

自ら処理している場合の流れ

直接委託処理した場合の流れ

項目	実績値
① 排出量	0.3
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0.3
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

- ⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
0 (A+B+⑮+⑰)
- ⑪ 優良認定業者への処理委託量  
0 (⑪1/2+⑪2/2)
- ⑫ 再生処理業者への処理委託量の合計  
0 (⑫'+⑫)
- ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量  
0 (⑬1/2+⑬2/2)
- ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
0 (⑭1/2+⑭2/2)
- ⑮は委託処理のうちの最終処分量  
0 (A+D+⑰+⑱)
- その他  
0 保管量
- 総埋立処分量  
0 (⑨+A+D+⑰+⑱)
- 総再生利用量  
0 (②+⑧+⑫'+⑫)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和3年度)実績量

計画：今年度(令和4年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
0100燃え殻																				
0200汚泥	3480	3306									3480	3306	3190	3190						
0300廃油																				
0400廃酸																				
0500廃アルカリ																				
0600廃プラスチック類	6.3	5									6.3	5	6.3	6						
0700紙くず																				
0800木くず	32.14	30									32.14	30	19.8	19						
0900繊維くず																				
1000動植物性残渣																				
1100ゴムくず																				
1200金属くず																				
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず																				
1400鉱さい																				
1500がれき類	1220.1	1159									1220.1	1159	103.2	103						
2020建設混合廃棄物	79.7	75									79.7	75	77.9	77						
2400石綿含有産業廃棄物																				
3111蛍光灯																				
合計	4818.24	4575	0	0	0	0	0	0	0	0	4818.24	4575	3397.2	3395	0	0	0	0	0	0